

令和5年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 2年生

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 職場体験学習  
(活動名)

- ねらい：
- ① 地域の事務所、店舗など実社会で働くことにより、勤労の意義や尊さを知る。
  - ② 地域や社会の一員として人々と関わることにより、社会性を養う。
  - ③ 今後の自分の進路について考える機会とする。

【8月31日】

見通しをもった学習になるようにしおりを準備しました。しおりを読み合わせて、今後の日程や準備について頭に入れました。



【9月5日】

学年全体で体育館に集まり、職場先できちんとした振る舞いができるようマナー学習会を行いました。お辞儀の仕方など、改めての発見が多く、意欲的に取り組んでいました。



【9月8日】

職場体験先が決まりました。その職場についてのイメージマップを作成する場面では、その職業についてタブレットで調べ、体験できる業務内容について想像をふくらませていました。



【10月17日】

事業所への行き方や当日の体験内容や持ち物などを確認するため、班で事前訪問を行いました。事前の連絡も含めて、緊張感が高まっていましたが、帰ってきてからは「事業所の方が優しかった」「当日が楽しみ」という声が聞こえてきました。



【9月8日】

職場体験先が決まりました。その職場についてのイメージマップを作成する場面では、その職業についてタブレットで調べ、体験できる業務内容について想像をふくらませていました。また、事業所へ持参する「自己紹介カード」の作成も同時に行いました。



【11月17日】

体験当日は、34か所の事業所へ朝から生徒たちは向かい体験を行いました。2人から6人の班でお世話になり、それぞれの仕事を実際に体験したり、様々な説明を受けたりしました。事業所では生き生きと働き、とても満足そうな生徒たちの姿がありました。

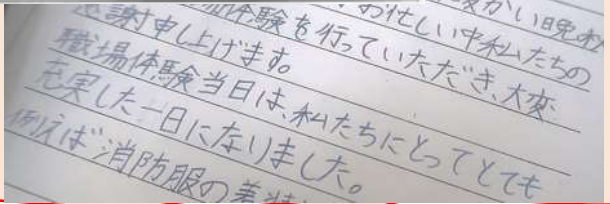
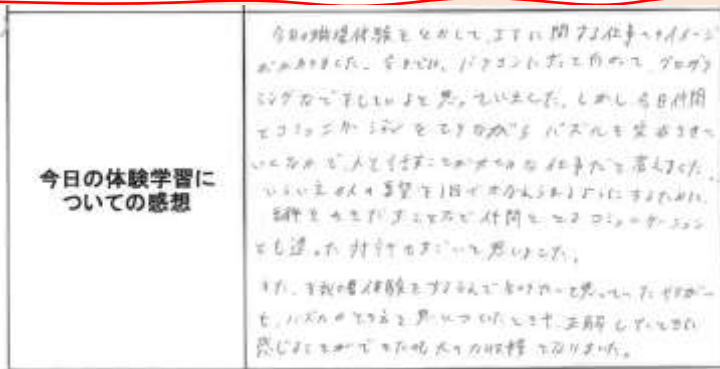


【11月20日】

職場体験の反省とお世話になった事業所へのお礼状の作成を行い、感謝を伝えました。

【11月24日】

職場体験のまとめをタブレットのスライドを使って班ごとに作成を行い、仕事について、働くことの意義や労働について考え、将来の進路選択の方向を見いだしました。



## まとめコラム

- ・コロナ禍後に3年ぶり実施できた職場体験となりました。11月17日の当日には学校という場では体験できない多様な人たちとのふれあいや西東京という町を支えている多岐にわたる仕事を体験することが生徒の大きな成長につながりました。
- ・体験を通して集団や社会の一員としての自覚や責任感を身に付け、今後の進路選択について考える絶好の機会になりました。